

臨時議会
報告

議長・副議長、所属委員会の改選 補正予算の承認、新型インフルエンザ対策が報告される

5月7日第1回大垣市臨時議会が開かれ、専決処分の「緊急雇用創出事業の補正予算」など3議案が審議され、その後議長等の選挙が行われました。

市議会議員 笹田トヨ子

議長に野村 弘氏 選挙結果は以下のとおり

議長：野村 弘（自民クラブ）（24票）
富田せいじ（自由民主党大垣市議会）（1票）
笹田トヨ子（日本共産党）（1票）
副議長：中沢清子（24票）、白票（2票）

笹田トヨ子議員は 「企画総務委員会」と「市 民病院に関する委員会」

私（笹田）は、「企画総務委員会」と「市民病院に関する委員会」に所属することになり、市民病院に関する委員会の副委員長に選出されました。

私は看護師でもあり、市民病院に関する委員会を希望していましたが、今回はじめて委員会に所属することになりました。頑張って取り組みます。

尚、特別委員会は、新たに「子育て支援日本一対

策委員会」が設置され、中心市街地活性化に関する委員会はなくなりました。

緊急雇用創出事業費1310万円 補正予算。臨時職員10名採用

緊急雇用創出事業として1310万円の県補助金が4月7日に専決処分されたことが報告されました。その内容は、ゴミステーション管理台帳作成や公園遊具等の履歴書作成、教育費関連の事業に緊急雇用創出として補正予算がつき、大垣市が直接採用する雇用については5月1日に終了したとのこと。92人の応募があり86人面接し、10人採用したとのことでした。しかし、雇用期間はせいぜい6ヶ月で、今起きている雇用問題を解決することにはなりません

メーデー相談村17名訪れる

5月1日西濃メーデー実行委員会が行った「メーデー相談村」には17名の皆さんが相談にこられました。イビデンでは日本人は30人、ブラジル人1600人が解雇

新型インフルエンザ対策 大垣市民病院に発熱外来を 設置

文教厚生委員会で、現在問題になっている新型インフルエンザに対する大垣市の対応が明らかになりました。4月27日、院内対策会議で、新型インフルエンザが発生した場合の対応として、大垣市民病院は発熱外来を設置し受診方法や受診場所などが話し合われました。また、抗ウイルス薬タミフルの備蓄については、岐阜県として188,200人分確保していること。また、小中学校や大垣市の指定管理施設及び市のイベントなどについて、発生した場合の対応について検討されました。

大垣市民病院では、サーズの手順に沿ってマニュアルを見直し再確認を行ったこと、4月28日には24時間相談窓口を開き、5月1日には発熱外来・入院の受け入れ体制が完了したということです。市民病院としてのタミフルの備蓄は180人分、テストキット450人分（更に800人分を追加）を準備しているとのこと。マスクについては店頭には品薄になっているようで、市としてはマスク7000枚、手袋1000組、職員用として確保しているとのこと、市民対応のマスクについて今後検討するとのことでした。

され、太平洋工業では内定取り消しがされていた実態が明らかになりました。

昨年8月から路上生活していた人の住宅の確保、生活保護申請等を行いました。